



理事長 久玉 輝美

皆さんあけましておめでとう

おめでとうございます。

昨年から新型コロナウイルスのパンデミックに覆われその対応に悩み、そして国民が閉塞感を持ちながら生活してきました。この冬もまだ必死に対策中ですが、ワクチンができ海外で予防接種が始まりましたので少しは安堵しているところでしょうか。さてこの先、コロナ禍が明けたら社会がどのように変わるのでしょう。過去の経験で感染症が流行するとその時代の権威が揺さぶられ、大きな変化が起こりうるといわれています。

特に日本では今年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。一般には平和な時代が続くと国民の格差が広がり、疫病などが流行すると労働賃金を押し上げる力になり、社会の平等化が進むらしいです。

9月この紙面でお話ししました、デジタル社会が進みデータを握る巨大組織が既に規制を受けようとしています。最近持続可能な開発目標(SDGs)が叫ばれ、脱炭素社会化や自然環境をもっと大切にする運動も起きています。そしてコロナ禍をきっかけにオンライン化が発展し、仕事と家庭との調和を望む声が多くなっています。

これらを考え合わせると、従来目指してきた進歩スピードもほどほどにして少しゆつたりした安全な社会を望む意見が多く

なり、しやにむに成長を追求することを見直す空気が見受けられそうです。

さて今年の東朋会ですが、昨年正月に申し上げました健康生活の支援、経済生活の支援、生きがいの支援、および働いた仲間の音信と交流を目標に活動することになりありません。

昨年は総会・懇親会、芸能大会、古希の集いなど中止せざるを得ませんでした。また香川前理事長を偲ぶもいまだ延期になつています。

間もなく日本でもコロナワクチンの接種が始まると思います。

三密が予想される活動はコロナ禍明けまで我慢して、先の代表者会議で確認しました活動を進めてまいります。また今限りで東朋会の評議員・理事・監事が改選されます、そのことへの会員各位のご協力をお願いします。

また、古くなったクラブハウスの修理に手を付けようと検討しています。先輩達が残してくれたクラブハウスです、会員の皆様今年も有効利用し、互いの交流を続けて行きましょう。